

秋を詠む

A U T U M N 2 0 2 4

2024.9.4 wed - 10.1 tue

大丸東京店

特別企画 ーだいまるのうた巡りー

期間中は、うたを完成させるラリー企画を開催中。うたを完成させたお客様に、「秋を詠む葉」をプレゼントいたします。

秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども

風の音にぞ おどろかれぬる

— 藤原敏行

そんな歌が千年以上前からあるように、

千年後の今も、風が、香りが、

あたらしい季節の訪れを教えてくれる。

そんな季節の移ろいを伝える70の詩歌が、

大丸東京店を彩ります。

秋を詠む、その一節に出会う旅へ。

さあ、秋がはじまる。



www.daimaru.co.jp/tokyo/akiwoyomu/

参加作家

天野 廉 あまの・けい

歌人。「ラジオ深夜便」出演や「NHK 短歌」テキスト連載、小中学生向けワークショップの他、「ちはやふる」(末次由紀/講談社)93首目・95首目に短歌を提供するなど、様々なメディアで短歌の魅力を伝えている。近刊に『見て楽しむことば図鑑』(共著・みつけ/幻冬舎)

岡本 真帆 おかもと・まほ

歌人。1989年生まれ。高知県、四万十川のほとりで育つ。2022年に第一歌集『水上バス浅草行き』、2024年に第二歌集『あかるい花束』をいずれもナナクロ社から刊行。

黒岩 徳将 くろいわ・とくまさ

1990年、兵庫県神戸市生まれ。「いつき組」所属。今井聖主宰「街」同人。第5・6回石田波郷新人賞奨励賞。2017年度「街未来区賞」。第3回俳句大学新人賞特別賞。2023年度「街賞」。アンソロジー『天の川銀河発電所 Born after 1968 現代俳句ガイドブック』入集、共著に『新興俳句アンソロジー』。現代俳句協会青年部長。第一句集『渦』(港の人)を2024年5月上梓。

原 麻理子 はら・まりこ

コピーライター、イラストレーター、俳人。1987年生まれ。受賞歴に、第5回円錐新銘作品賞白桃賞(俳句)、2022年度TCC新人賞(コピー)など。コピーの仕事に「気持ちいいのはなぜだろう。」(無印良品)、イラストの仕事に『金曜日の川柳』(左右社)がある。

和歌撰者・監修

たられば

編集者。X(旧Twitter)にて大型犬と本(書籍/雑誌)、平安朝文学への愛(特に清少納言と枕草子)を弦き続けてフォロワー数は約23万人(2024年7月末時点)。だいたいニコニコしています。講談社、集英社、新潮社、KADOKAWA、朝日新聞など各社媒体に書評、エッセイを寄稿。

谷 知子 たに・ともこ

フェリス女学院大学教授。専攻は和歌文学。大阪大学国文学科卒、東京大学大学院博士課程単位取得。博士(文学・東京大学)。著書に『和歌文学の基礎知識』『古典のすすめ』『天皇たちの和歌』(角川選書・kadokawa)、『ビギナーズ・クラシックス日本の古典 百人一首(全)』『カラー版 百人一首』(角川ソフィア文庫・kadokawa)、『百人一首 解剖図鑑』(エクスナレッジ)など多数。

 DAIMARU 東京店

電話(03)3212-8011 〒100-6701 東京都千代田区丸の内1-9-1

だいまるのうた巡り

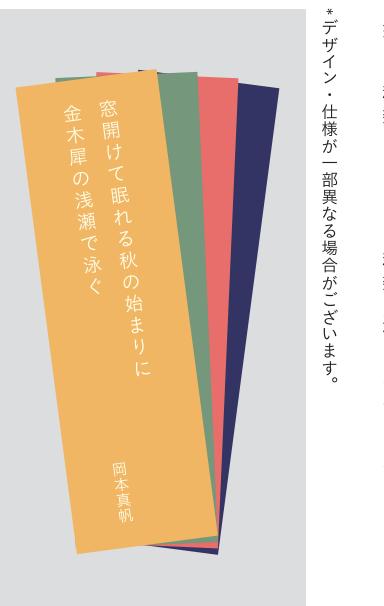
だいまるのうた巡りは大丸東京店内に散らばる「うた」を巡るイベントです。5か所を巡って、1つの合言葉を完成させてください。

【巡り方】

- ① うたを完成させる

- ② 合言葉を導く

- ③ 報告する



5つのうたの赤い丸の部分を組み合わせて、1つの合言葉を導き出しましょう。

導き出された合言葉を9階層CRAFTで報告しましょう。

合言葉が正解の場合、「秋を詠む葉」をプレゼントいたします。

* 葉のプレゼントは先着1000名様限定です。なくなり次第終了とさせていただきます。

* 葉は4種類のうちから一種類をお選びいただけます。

* デザイン・仕様が一部異なる場合があります。

1 東京に来て東京の○○○（黒岩徳将）

ヒント

「塗るコスメ」を言い換えた言葉が入ります。
少し寂しさも感じさせます。

2 ささやかな○○○を忍ばせて

塗り替えていくわたしの今日を（岡本真帆）

「塗るコスメ」を新しい季節ってなんだかうれしいですよね。
ピアスを外すときのじぐさが入ります。

3 ○○○外すピアスや小鳥来る（原麻理子）

「秋の入り口」という言葉がヒントになります。
夫に「飽きられた悲しみ」を秋に重ねて
小鳥の様子とも似ているかも。

4 ○○○はいつもうれしいぼくたちは

知らない秋の入り口にいる（天野慶）

「秋の入り口」という言葉がヒントになります。
夫に「飽きられた悲しみ」を秋に重ねて
新しい季節ってなんだかうれしいですね。

5 おほかたの秋のあはれを○○○

月に心はあくがれぬとも（紫式部）

紫式部が夫・藤原宣孝に送ったとされる和歌です。
夫に「飽きられた悲しみ」を秋に重ねて
詠んでいます。

- 合言葉 —
1
2
3
4
5

【うた巡りスポット】

- ① 1階メインウインドウ
② 2階化粧品のミニウインドウ
③ 6階サンヨーフィッティングストア横
④ 3階婦人靴売場柱前
⑤ 1階プラダ前
ゴール：9階層CRAFT

うた巡りスポットマップ

